お知

ま見聞録

/寄附に対する感ながはまの文化

謝財

さざなみタウンニュース _-SAZANAMI TOWN NET TOWN

市民協働センタ

オンラインコミュニケーションの可能性

コロナ禍で、新たなコミュニケーションの手段の一つとし て、オンライン活用が期待されています。インターネットを通 じパソコンやスマホのカメラ・マイク機能を使って会話等を 行うもので、ウェブ会議アプリ「ŹOOM」などが知られていま す。テレビ電話のように1対1はもちろん複数人が同時に参 加でき、会議のほか、セミナーに自宅から参加できたり、遠方の 人とも簡単につながれたりします。

今回はオンラインを 取り入れた市内団体の 活動事例を紹介しま す。市民協働センター では、オンラインコ ミュニティカレッジの 開催なども計画してい ます。



▲センターが主催したZOOM体験講座の様子

【西浅井まちづくりセンター】小学生の体験学習「学び座」

小学校の分散登校日に告知チラシを配布、事前に参加者を募 集し、参加児童は、保護者があらかじめZOOMに接続し待機。 講座は土井健守所長が講師となり、アイスクリーム作りを通じ た化学実験や、新聞紙を使った工作を指導、各10人程度が参加 しました。画面越しに対面した児童は「元気?」など再会を喜 びあい講座を楽みました。同センターでは、今後も状況次第で オンラインでの開催を検討しています。

【にじっこ】不登校の児童・生徒を対象とした交流の場

不登校の子どもたちと家族の「居場所づくり」に取り組む林 ともこさんが、これまでの参加者を対象にZOOMでの交流の 場を提供。小学生・中高生の部と分け、4~5月にかけて週2 回の頻度で開催しました。小学生は毎回7~8人程度が参加 し連想ゲームなどの遊びを、中高生は近況報告などを主とし、 さらにオンライン保護者会も行い家庭内の状況を確認し合い

マイクやビデオをオフにして参加できるオンライン交流の 機能は「『顔を合わせるのがしんどい』という子には都合が良 い」と林さん。6月以降は通常に戻すものの、こうしたケース に応じて断続的に続けていく予定です。また、学校再開に伴っ ての不登校や行きしぶり相談も受け付けています。詳しくは 林さん(2090-4769-0521)

【käsikäsi(ながはま多胎ファミリーの会)】交流手段の模索

子育て支援センターで行っていた多胎児家族の交流会を、4 ~5月はZOOM上で3回開催。外出自粛中でもホッとでき るおしゃべりの場をと、会員に参加を呼びかけました。自宅で も参加できるのがオンラインの利点ながら「家にいるとかえっ て子どもたちや家事が気になるためか、参加者が増えなかっ た」と、代表の川部端恵さん。

そこで普段連絡ツールとして用いている「L´I'NÉ」を活用。 アンケート機能を使い育児の悩みや相談を挙げてもらい、LI NEグループメッセージ上で皆がアドバイスを返信する手法 に切り替えました。これだと都合のいい時間に返信できる使 い勝手の良さがあります。今後オンラインは、テーマ別の情報 交換の場として活用を模索しているところです。

こんな影動してます!

長浜文化芸術ユース会議 はまかる next

演劇や映像、美術、音楽、文芸。文化芸術というと、難解なものという印 象があって取っつきにくかったり、鑑賞しようと思うと都会に出向くも のと思われたりしがちです。長浜に暮らしていても身近な存在として関 心を高めてもらえる基盤を築こうと、市の呼びかけで平成27年に結成。

現在、文化や芸術の分野で個々に活動する高校生以上40歳以下の正規 メンバーに加え、40歳以上のサポーター、芸術に興味をもつ中学生など 15人で構成。ジャンルを超えた交流や技術の学び合い、小学校への出張 公演、イベント主催などに取り組んでいます。

昨年からはメインイベントとしてオリジナルの音楽劇を公演し、800 人が鑑賞。今年は6月に予定していた新作公演が延期になり、緊急事態 宣言中はオンラインを活用し台詞稽古などに励み、ようやく対面稽古を 再開しました。新作音楽劇「とりあえずあんみつ」は来年1月に開催され ます。ご期待ください。



▲昨年8月公演のシェイクスピア劇 にて。入会、見学なども歓迎。

間 nagahamaculture@gmail.com



◇ながはま市民協働センター

☎65-6525 Mail: katsudou@city.nagahama.lg.jp 休所日 火曜日 ◇北部サテライトセンター きのもと交遊館

〒526-0425 長浜市木之本町1118 開所日 水・日曜日

〒 526-0037 高田町 12-34





異文化情報や外国語絵本の展示もあります。

8月2日(日)

ながはま文化福祉プラザ 2F

外国語の絵本のおはなし会 815組

ネイティブスピーカーによる英語・ポルトガル語・ スペイン語・中国語での読み聞かせ(日本語訳あり) ●1部:10時~11時 ●2部:13時~14時

アフリカ布で本のしおり作り体験

30分ごとに1組ずつの入替制

●10時~15時(12時~13時を除く)

申込み・問合せ

感染予防対策のため、事前申込制とします。 申込期間:7月10日(金)~25日(土)10時~19時 <ただし16日(木)、23日(木・祝)を除く>

長浜市民国際交流協会

TEL 63-4400 E-mail nifa_info@yahoo.co.jp

【主催】長浜市民国際交流協会•長浜市立図書館

【協力】滋賀文教短期大学·JICA

※状況により中止や内容を変更する場合があります。参加の際はマスク の着用をお願いします。

【ながはま文化福祉プラザ】

- ●文化福祉プラザ室/☎65-6907●ながはま市民協働センター/☎65-6525
- ●長浜まちづくりセンター/☎62-1808●長浜図書館/☎63-2122
- ●長浜市地域福祉センター/☎62-1804

【長浜商工会議所・長浜ビジネスサポートセンター】

●長浜商工会議所/14 62-2500 ●長浜ビジネスサポート協議会/☎ 53-2770



『「うちの子は字が書けないかも」と思ったら 発達性読み書き障害の子の自立を考える』

宇野 彰・千葉 リョウコ / 著(ポプラ社)

40人学級に3人の確率でいるとい われる発達性読み書き障害。これは 知能や聞いて理解する力に問題がな くても、読み書きだけに困難を示す しょうがいです。実際にこのしょう がいを持つ子の母親が専門家に聞く 形で進められるこの本は、今まさに 困っている子どもや、その保護者の 助けになるかもしれません。



『ホントに食べる?世界をすくう虫のすべて』

内山 昭一/監修(文研出版)

セミ・コオロギ・ハチ。これらはす べて食べられる虫です。日本でも昆 虫を食べる食文化を持つ地域があり ますが、今、地球にやさしい食材と して注目されているとか。歴史から 調理方法まで、古くて新しい虫ごは んのことがわかります。



休館日 問合せ 長 浜 | ☎ 63-2122 | ◎ 毎週 火曜日 臨時休館 8月1日(土)·2日(日) 浅井 🔯 74-331 ※市全体の情報ネットワーク改修のため、 びわ **2** 72-4305 図書館コンピュータシステムが停止し ます。ホームページも使えません。ご ☎ 73-2335 ◎ 毎週 月・火曜日 理解とご協力をお願いします。 湖北 🔯 78-1687 ※図書館は7月30日(木)・8月27日(木) 開館します。 高月 285-4600

※開館時間 10 時~18 時(長浜図書館は平日のみ10 時~20 時)





◇木之本まちづくりセンター図書室(北部振興局併設) ☎82-5915【8時30分~17時】 休室:土曜日·日曜日·祝日

◇余呉文化ホール図書室(余呉支所隣接) ☎86-8107【9時~17時】 休室:祝日

◇西浅井まちづくりセンター図書室(西浅井支所併設) ☎89-1125【8時30分~17時】 休室:月曜日、第1•3日曜日、祝日 ※図書室も8月1日(土)・2日(日)は貸出業務等を停止します。

毎月第3日曜日は 「けやきっ子読書の日」

「けやきっ子」とは、市の木「けやき」にな ぞらえ、どっしりと大地に根を張って知恵や知

識を吸収し、太く堅い幹のよ うにしっかりと生きる力を身 につけ、想像の枝をのびのび と広げて豊かに生きる長浜の 子どもたちをいいます。



市内には以下の図書館もあります

公益財団法人 江北図書館

木之本町木之本1362 ☎82-4867 休館日:月曜日、第1・3日曜日、祝日 ホームページ:http://kohokutoshokan.com

広報ながはま 2020年7月号